

視察・研修報告書

視察・研修先	登別市議会
日 時	2023年8月7日（月）
場 所	北海道登別市
テーマ	開かれた議会を目指して
対応者 （講師）	議長 辻 弘之氏
概 要	
<p>1. 議会改革変遷</p> <p>①コンセプト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成15年度から19年度は改革への準備を行う。コンセプトとして開かれた議会。平成19年度から本格実施へ。</li> <li>令和2年度は多様性のある議会の実現をコンセプトにする。</li> </ul> <p>②議長の所信表明を実施</p> <p>本会議中に会議録がある上で議長になるための所信表明を実施する。</p> <p>③ICT関連・議場整備等、議会改革</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成14年度 議場にパソコンを持ち込めるようにする。（貸与）</li> <li>・平成19年度 委員会計画書、モニターに写真を写して一般質問を行う。</li> <li>・平成21年度 議会中継を行う。（本会議及び委員会）</li> <li>・平成24年度 議会サポーター制度開始</li> <li>・平成30年度 議会ホームページリニューアル クラウド型グーグルの併用 議場内への障がい者傍聴席の設置</li> <li>・令和2年度 サイボウズグループウェア導入 完全ペーパーレス化実施 オンライン委員会を実施。 フェイスブックページの運用開始</li> <li>・令和4年度 ベビーサークルや乳幼児図書室を配置。</li> <li>・令和5年度 オープンデータ化、議論する議会に向けた諮問</li> <li>・市民サポーター 5名以内無償報酬 年1回以上の意見交換を実施</li> <li>・専門的サポーター 5名以内有償非常設 議案審査や調査に必要な場合（年間10万円）</li> <li>・議会事務局提案規程 議長交際費を議会交際費に見直し 委員会審議会報告 口述書の見直し</li> </ul> <p>2. 議会フォーラムの開催について（登別市民対象）</p> <p>①平成24年度～平成25年度</p> <p>目的：「登別市議会基本条例」の遵守を基本に、議会の活動原則における「市民との議論の場」及び委員会活動での「市民との意見交換の場」として開催する。</p>	

②平成 26 年度～平成 27 年度

目的：市内の高校生と専門学校生たちから問題提起や提案等を内容とした質問を受け、学生たちが考えることを把握し今後のまちづくりへの参考と活用に結び付ける。

③平成 28 年度～令和 4 年度

目的：各常任委員会の重点活動テーマ等を中心に論点を示し、市民との意見交換を通じて課題の共有を図り、市民が求める政策要望を把握するとともに、市民の声を市政に反映させ、市民との協働による議会活動の展開を目指す。

所 感

登別市議会は昨年、議会改革度ランキング全国 1 位となり多くの市議会から注目されている。今期においては「多様性ある議会」の実現に向けたコンセプトを継続するとともに「議論する議会」を軸とした議会力の向上を目指されている。本市議会にも採用できると思われることもあり、今後の議会改革の参考にしたい

-作成者 松田 美由紀 -

視察・研修報告書

視察・研修先	石狩市議会
日 時	2023年8月8日（火）
場 所	北海道石狩市
テーマ	石狩市議会における ICT 化によるペーパーレス化と業務効率化
対応者 (講師)	石狩市議会事務局
概 要	
<p>1. ペーパーレス化を進める</p> <p>平成 27 年から市議会の ICT 化として「議会改革推進特別委員会」においてタブレット端末導入を第一に検討を始める。</p> <p>①タブレット端末のデモンストレーションを実施（平成 27 年 9 月） →大半の議員は使いにくいといった感想 →タブレット端末ではなく、パソコンであればタブレットよりは使ったことがある。</p> <p>②導入費用の比較</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末 インitialコスト約 800 万円＋ランニングコストが必要</li> <li>・パソコン 職員が使用していたリース期間満了のパソコンを買い取った場合 1 台 5000 円、20 台で約 10 万円</li> </ul> <p>→パソコンを導入し、議案・資料のペーパーレス化から始める。</p> <p>③平成 28 年 9 月定例会から全議員にノートパソコンを貸与し、議案等の資料をデータ配布し議場で閲覧。平成 29 年 9 月からは委員会資料もデータ化する。</p> <p>2. パソコンの導入効果</p> <p>①ペーパーレス化した書類 行政資料及び議会資料</p> <p>②パソコン導入費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン 35 台（議員 20 名 事務局 予備） 175,000 円</li> <li>・コンセント等の電源改修（議場 委員会室） 486,000 円</li> <li>・USB メモリ（議員 1 人 2 個） 66,000 円</li> </ul> <p style="text-align: right;">合計 727,000 円</p> <p>③ペーパーレス化による削減経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷、製本に係る人件費（本会議・委員会） 1,380,000 円</li> <li>・消耗品（主に紙）（本会議・委員会） 600,000 円</li> </ul> <p style="text-align: right;">合計 1,980,000 円</p> <p>3. タブレット端末導入を目指して</p> <p>「議会の ICT 化」、「ペーパーレス化」、「業務の効率化」を更に実行にするためタブレット端末導入を令和 2 年度当初予算に計上したが、予算化できず。</p> <p>①令和 2 年 9 月定例会で補正予算が可決</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インシヤルコスト 約 800 万円</li> <li>・ランニングコスト 約 73 万円（年額）令和 5 年は 82 万円（円安の為）</li> </ul>	

- ・マイクロソフト 365 構築業務委託 約 420 万円
- ・議場、委員会室等の Wi-Fi 整備は他部署で実施

#### 4. タブレット端末導入の効果

- ①議会の ICT 化（コロナの場合のみ）
- ②ペーパーレス化 クラウドでデータ管理
- ③業務の効率化 議案、委員会データを USB で手渡しでタブレットにデータ送信
- ④その他タブレットに関する事項
  - ・タブレットを紛失した際は遠隔操作によりロック可能
  - ・タブレットと外部は遮断されており USB 保存は不可
  - ・アプリのインストールは許可制

#### 所 感

石狩市議会は、タブレット導入ありきではなく、当初は皆の馴染みがあるパソコンから導入し ICT 化を進めている点は参考にしたい。説明の中で社会全体の流れが進んでおり、環境的にもペーパーレス化を進めていかねばならないのではとのコメントは同意である。本市議会でもタブレット導入に消極的な議員もいるため、議員誰でも所有しているパソコンから始めることも検討すべきである。

-作成者 松田 美由紀 -

視察・研修報告書

視察・研修先	札幌市議会
日 時	2023年8月9日（水）
場 所	北海道札幌市
テーマ	札幌市議会における議会の機能強化及び改革の取り組み
対応者 （講師）	札幌市議会事務局
概 要	
<p>1. 議会の機能強化及び改革に係る検討組織の立ち上げ</p> <p>①検討組織の立ち上げ 議長から検討組織の設置要請を受け、会長・団長会議で検討組織の設置が決定される。幹事長会議で検討組織の構成員が決定。</p> <p>2. 議会の機能強化及び改革の主な成果</p> <p>①費用弁償の廃止 平成19年9月27日付けで廃止する。</p> <p>②「政務調査費（政務活動費）の手引き」の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使途の判断基準を具体事例により明確に</li> <li>・判例、住民監査請求結果、政令市の実例の中でも厳しい基準を採用</li> <li>・活動区分により按分割合を明確に設定し使用範囲を限定</li> <li>・全使途項目において合理的な按分割合により政務活動費を支出</li> </ul> <p>③長期欠席議員の議員報酬を減額する規定の新設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一年を超えた日の翌日から減額を開始 減額率月額30%</li> <li>・期末手当（基準日6月1日、12月1日）における議員報酬月額に基づき減額</li> </ul> <p>④議会基本条例の制定（及び検証）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素案作成後市民募集を実施し、平成25年第1回定例会に提出、可決</li> <li>・議会基本条例の検証は条文ごとに検証結果をまとめ、ホームページで公開。</li> </ul> <p>⑤札幌市議会大規模災害対応要領を策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌市議会災害対策支援本部の設置（議長、副議長、会派代表者）</li> <li>・議会事務局の役割を明記</li> </ul> <p>⑥インターネット中継の変遷</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ中継（昭和46年）→本会議のインターネット・ライブ中継（平成17年）</li> <li>→本会議のインターネット録画中継（平成22年）→予算・決算特別委員会のインターネット中継（平成23年）→マルチデバイス対応（平成28年）→調査特別委員会のインターネット中継（平成30年）</li> </ul> <p>⑦議場内への大型モニターの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表質問における発言時間の見える化（令和2年9月）</li> </ul> <p>⑧議員定数の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議員定数と人口の逆転現象が生じていた。令和4年3月本会議において「中央区を1増、南区を1減」とする条例案が賛成多数で可決</li> </ul> <p>⑨議会のペーパーレス化（タブレット端末の導入）令和6年本格実施開始</p>	

- ・ iPad12.9 インチを 4 年間のリース契約
- ・ 文書共有アプリ、チャットアプリを採用
- ・ 導入効果として議員活動の充実、議会事務局及び執行部の業務効率化、将来的に見込まれる議会活動の多様化・活性化があげられる。

#### 所 感

札幌市議会は政令市のため、各区において議員定数が決められており人口逆転の現象や一票の較差が起こったことによる議員定数の見直しがあった。本市議会は市内で行政区毎の定数ではないため、議員が定数の半数いる地域と議員がいない地域が存在している。人口規模でそれぞれの課題があることを改めて認識した。文書共有アプリではクラウドサーバーに保存された資料のデータを閲覧できる点、チャットアプリで各種連絡情報提供ができる点は参考にしたい。

-作成者 松田 美由紀 -